

2020年6月1日

得意先各位

鬼怒川パシフィック株式会社
株式会社キヌガワ

COVID-19 と器材洗浄～保管について

緊急事態宣言が解除され各都道府県における自粛要請も緩和される中、ダイビング業界においても指導団体をはじめ感染予防策に対する取り組みが発表されております。弊社においても以下の通り簡単ではございますがガイドラインを策定致しましたので Dealer news としてお送りさせていただきます。

洗浄によるダイビング器材の感染予防

- ① 家庭用台所用洗剤を水 500ml に小さじ 1 杯 (5g) を溶かし 5 分程度浸すか希釈した液を清潔な布にしみ込ませてマスクなど対象器材を拭き 5 分程度放置します。なお、浸し過ぎ、放置し過ぎにはご注意ください、材質に不具合を起こす可能性があります。

<https://www.meti.go.jp/press/2020/05/20200522009/20200522009-1.pdf>

- ② 水道水で十分に濯ぎ洗い（大変重要です、人体・器材への影響を最小限に抑えます）
マスクはフレーム、シリコン、レンズの隙間、マウスピースは接続部分に水が十分まわる様に濯いでください。
- ③ しっかり乾燥させて、洗浄前器材と同じ、汚染されている可能性のある場所での保管を避けてください。

* 様々な洗浄剤・除菌剤がありますが弊社製品への影響に関しては把握しておりませんのでご注意ください。

* 一般的に煮沸消毒も効果があるといわれています。

様々な基準はあるようですが最低 70 度以上のお湯に 5 分以上煮沸消毒をお勧めします。

・COVID-19 ウイルスが 70 度以上のお湯で 5 分以上煮沸消毒した場合検出されなかったとの報告があります。

<https://www.nhk.or.jp/ohayou/digest/2020/05/0521.html> *

・シリコン素材は沸騰したお湯で煮沸しても形状変化や劣化はしません。

・スノーケルパイプは煮沸により変形しますので煮沸洗浄は避けてください。

・火傷をしない様十分ご注意ください。

機材の保管と運搬について

ドライバックなどで汚染されていないダイビング器材を保管～運搬する事で飛沫汚染リスク軽減を見込めます。

ドライバック表面に関しては希釈された台所用洗剤で簡単に消毒～洗浄でき速乾性もあります。

ギアバック・メッシュバックなどと必要に応じた併用をお勧め致します。

・GB-7137 ドライバック M サイズ：マスク・スノーケル＋水着・タオルなど

・GB-7144 スノーケリングリュック：マスク・スノーケル・フィン＋水着・タオルなど

(フィンも内部に入るサイズであれば内部収納をお勧め致します)

・GB-7173 ドライバック L サイズ：ウェットスーツ、レギュレーターなどかさばる器材など

・GB-7174 ウォータープロテクトトート：フル器材対応

ダイビング器材を車載する時などトートに器材を入れ大型のビニール袋に入れましょう